

Challenge 2

騒音や悪臭を出さない
近隣の迷惑になるような騒音や振動、悪臭などを出さないようにしましょう。

Challenge 1

生ごみの減量

生ごみ処理機などを活用して、生ごみの減量と堆肥化を実践しましょう。

step 3

市内外で自然環境保全活動などに取り組む NPO法人 EarthCommunicationの川口眞矢さんと市環境課職員から、私たちができる取り組みを学び、考えてみましょう。



—身近なことから始めよう—



「私たちは、^く々々^び生^し海^う岸^くや竹林などの保全活動もしています。海岸では、御前崎海洋クラブの皆さんや地域の皆さんも保全活動をされていますが、毎日のように大量のゴミが漂着してきています。環境の悪化は、巡り巡って私たちにも影響すると考えられます。地域の子どもたちによく話しているのは『このまま海に住んでいる魚の数が減っていくと、お寿司屋さんで食べられる一皿の値段が高くなっちゃうよ』。これは、ほんの一例に過ぎませんが、私たち大人も環境問題ともっと真剣に向き合いたくなりませんか？



清掃活動前の久々生海岸の様子

これまで以上に、ゴミの分別や節電を含めた「環境への配慮の積み重ね」をしていきましょう。一人一人の力は小さくても、みんなで取り組むことで大きな成果につながります。



NPO法人 EarthCommunication

川口 眞矢 さん

5年前から任意団体として活動をスタートし、昨年4月にNPO法人アースコミュニケーションを設立。

現在は、多くの人の協力を得ながら、自然体験活動や自然環境保全などに取り組んでいる。